



第415号

発行  
浄土真宗  
心光寺  
奥原曇龍  
倉敷市早高426  
☎(086)420-1311



# 願いを伝える



カット：本多絢子

8月は孟蘭盆会の行事の月です。地球温暖化の影響で猛暑の夏から酷暑の夏に日本列島が覆われて、寝苦しい夜が続いています。皆様方いかがお過ごしでしょうか。

猛暑の夏にお寺様が檀家様の家の仏壇や水棚に、一軒一軒お盆参りをする行事も、年々とお寺で合同法要をするところが増えていきます。あまりの暑さに、住職様方も熱中症になることが心配なのかな。愚僧も後期高齢者の仲間入りをし、この真夏の酷暑の盆参りには耐えられず、心光寺もお寺での合同法要にお参りをお願いしています。

お盆の行事をお寺によつては施餓鬼供養とも名付けています。お釈迦様の二大弟子であった目連尊者が阿羅漢の悟りを開いたとき、神通力で母親が死後の世界で餓鬼道に落ちていることがわかりました。何とか助けようとしたが助けることが出来ず、お釈迦様に救いの方法を尋ねると「お前の母親は、目連を育てるために、他の子供たちに物惜しみをしたので餓鬼道に落ちたのだ。目連よ、母親に代わって修行者たちに食べるものや衣服を供養しなさい」と告げます。その通りにすると母親が餓鬼道の世界から救われます。それを知った目連は飛び上がって喜びます。その喜びが盆踊りになったと言われています。

\*心の悩み・信仰の相談は月曜日から木曜日の午前中に気楽にお電話下さい。

新型コロナウイルスの感染も落ち着き、あちこちで夏祭りが復活して賑やかなのは嬉しいが、二年前から円安の影響で急激な物価高となり、食べ物や着る物や何もかもが値上がっています。1万円札も値打ちがどんどん下がり、高齢者の方は年金収入ぐらいいしかなないので、頼りの預貯金の価値が下がるのは辛いですね。

ところで7月3日に新紙幣が20年ぶりに発行されました。今、この『ともしび』の原稿を書いているのは7月17日ですが、愚僧はまだ新紙幣を手にとっていないので残念です。1万円札の肖像は「資本主義の父」と呼ばれる渋沢栄一（1840～1931）氏。1984年に聖徳太子の後継に福沢諭吉氏が登場して以来、約40年ぶりの変更です。渋沢氏は武蔵国血洗島（埼玉県深谷市）で生まれ、一橋家に仕え幕臣になります。後に1867年のパリ万国博覧会の使節団に派遣され、銀行や株式会社の仕組みなど、資本主義のイロハを学びました。33歳で実業家となり、民間銀行や商工会議所や鉄道、証券取引所、女子大学、病院などを立ち上げ、企業は利益を追求するだけでなく、公益性を重視し道徳を求めたのです。環境や人権問題など、社会の課題となつているものの解決を求めた素晴らしい方が渋沢氏です。

新5千円札は津田塾大学を創設した津田梅子（1864～1929）氏です。梅子氏は6歳で初の女子留学生として渡米します。17歳で帰国し、日本の女性の地位の低さに、驚き嘆きます。35歳で女子英学塾（津田塾大学）を創設し、英語を学ぶことを通じて、広い視野を持つ女性の育成に力を注ぎ、女性の自立に生涯を傾けました。

新千円札は血清療法を確立した北里柴三郎（1853～1931）氏です。ドイツ留学中の1889年に破傷風菌の純粹培養に世界で初めて成功。国内外で感染症の予防と治療に貢献し、「近代日本医学の父」と呼ばれ、医学・薬学の発展のためには多様な理系学問との協力が必要であると説いていました。病に苦しむ人を熱意と誠で、一人でも多く救いたいという願いは仏様のようですね。合掌（奥原 曇龍）

『新紙幣立派な方がそれぞれに 肖像となり願いを伝える』 どんりゅう



カット：府川 綾

## ともしび説法

日時・八月二十三日「金曜日」 午前十時から十二時まで。  
九月 九日「月曜日」 午前十時から十二時まで。  
場所・倉敷市早高426 新本堂 電話086-420-1311

ともしびを読みたい方、お寺についてもっと知りたい方 [心光寺 倉敷 検索](#)





# お釈迦様ものがたり 94

お釈迦様の二大弟子と呼ばれ、仏教教団を引き継ぎ、指導を期待されていた舍利弗(サーリプッタ)と目犍連(モッガラーナ)の二人が、お釈迦様より先に死(涅槃)に逝かれたのは、教団にとって大きな痛手でした。

あるときお釈迦様がコーサラ国の舎衛城におられた時、舍利弗はマガダ国の那羅村に住み、疾病によって困苦し、重く患っていました。弟である沙弥の純陀は舍利弗の侍者であり手厚い看護をしたが、舍利弗は病のために死(涅槃)を迎えたのでした。

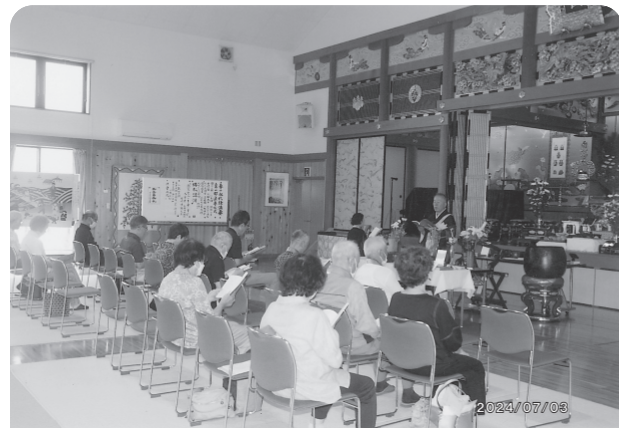
そこで純陀は、舍利弗の鉢と法衣を以て、お釈迦様のいる祇園精舎におもむき、従者の阿難に取り次ぎを頼みます。阿難は「舍利弗は私を教え、導く人でした。舍利弗は説法もわかりやすく、多くの梵行者を救いました。その舍利弗が涅槃(死)に入られたと純陀が知らせに来ています。悲しくてやりきれません」とお釈迦様に告げられました。

お釈迦様は「阿難よ、私はかねて説いたではないか。一切の愛するものと別れねばならぬ。なんぞ常なるものがあるか。滅するものは、必ず滅する。頑丈なる大樹も、やがては倒れる。舍利弗も寿命を全うし、涅槃に入られたのだから、必要以上に悲しむな」と諭されました。

お釈迦様は、「自らを灯火とし、他者を依り説法をされ、「自らを灯火とし、他者を依り所としてはならない。自らを依り所とするものは、法(真理)を灯火とせよ」と告げ、舍利弗を頼りにせず、仏法(真理)を抛り所にし、自らを依り所とせよと語ります。

舍利弗の涅槃(死)を知らされたお釈迦様は、祇園精舎から600kmも離れたマガダ国の那羅村を訪ねた後に、王舎城の竹林精舎に向かった。仏教教団にとって、舍利弗の死は大きな痛手であり、竹林精舎の弟子たちを励まそうと向かったのです。合掌(奥原豊龍)

盆が来たあの人の人皆浄土 寺に参ればともしびゆらぐ 田辺多恵子



7月3日 心光寺 ともしび説法

## ともしび法話

八月はお盆月。今年も酷暑の夏で蒸し風呂の中に入っているようで、地獄です。皆様いかがお過ごしでしょうか。

暑さでお盆参りが出来にくく、今年も心光寺のお寺で盆や初盆の合同法要を企画していますので是非お参り下さい。

心光寺新坊守(ぼうもり) 府川 綾

お寺でのお盆合同法要は有り難いな。8月13・14日の午前9時から普通の盆参りと午前10時から初盆のお参りです。過去帳か御位牌を持参すれば良いので有り難いですね。 倉敷市西坂 貝原富美子

「お盆には家族集まり手を合わす 先祖を偲び心も合わす」

「今、今、今」を大切に感謝で生きよう。

倉敷市亀島 磯永 充利

「楽も苦もすべて人生は菩薩行」 美輪明宏さんの言葉です。菩薩行という言葉に心打たれました。艱難辛苦に耐え乗り越えられた美輪さんだからこそその言葉だと思えます。皆様、心も身体も大切に。

倉敷市中庄 山下須磨子

## ともしび説法

日時・八月二十三日「金曜日」 午前十時から十二時まで。

九月 九日「月曜日」 午前十時から十二時まで。

場所・倉敷市早高四二六 心光寺(しんこうじ) 本堂にて

電話・(086)420-1311 駐車場有り

(宗派を問わず、はじめに人生を考えているあなたに参加していただきたいのです。)

○ともしび説法・お寺の行事予定

十月 八日(火)・午後一時半から四時まで・早高の本堂。

十一月 三日(日)・午後一時から四時頃まで・早高の本堂。

秋の報恩講並びに永代経法要 儀式と仏教講演

☆ともしび会は、月額五百円の会費制です。(賛助会員募集中)。ともしび新聞を毎月発行し続けていますが、たくさんの方がありません。賛助会員になって下さる方があれば嬉しく思います。会員には、ともしびを郵送させていただきます。(お電話下さい)



## うたの詩

今年もお盆がやってきた 民族の大移動のように 故郷に帰る人 旅に出る人 みんなそれぞれに心を癒やす 金や地位や名声や贅沢を 目指せば身も心も疲れる 先祖を偲び自分を見つめる

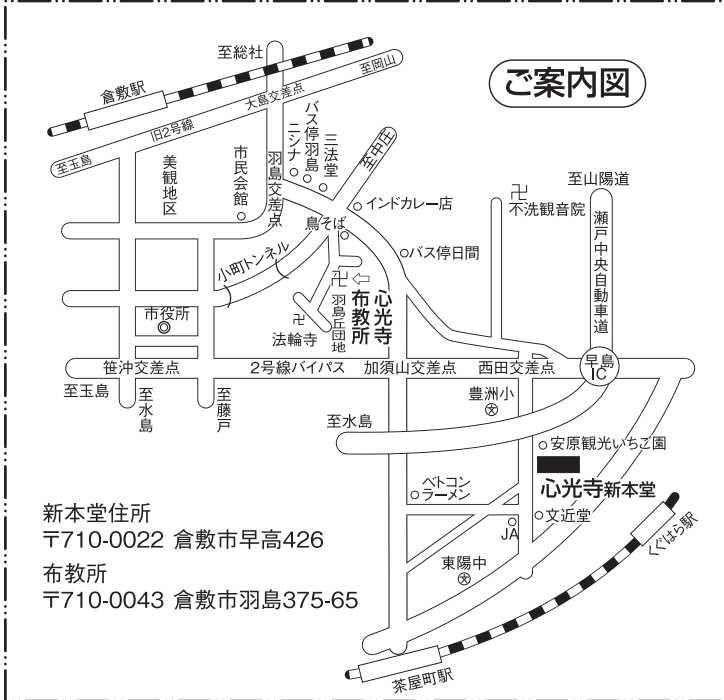


カット:吉岡美枝

浄土真宗の宗祖は親鸞聖人(しんらんしょうにん)です。お葬式の時にあわてて葬儀屋さんを紹介してもらうより、自分でお寺は決めよう。

◎ともしび制作費に御寄付ありがとうございました。

- 倉敷市 田邊様 中原様 3千円
- 倉敷市 伊木様 4千円
- 倉敷市 山口新司様 山本年光様 1万円
- 光市 久行美也子様 2万円



〒710-0022 倉敷市早高426  
 浄土真宗(じょうどしんしゅう)心光寺  
 TEL(086)420-1311 FAX 420-1322  
 携帯電話 (090)-2297-2504

★『ともしび』の毎月発行も、お陰様で「415号」となりました。心光寺は、誰でも気軽に来られる「心の雨宿りのお寺」を目標に頑張っています。8月23日のともしび説法には茶屋町駅西口に9時30分にお寺より自動車でお迎えに行きます。自動車の送迎が必要な方は、心光寺までご連絡下さい。合掌 総代長 本家豊彦